

2026 年塑性加工春季講演会 講演募集

開催日：2026年3月18日（水）～3月20日（金）
会場：静岡大学 浜松キャンパス
テーマセッション講演申込締切：2025年10月31日（金）
一般講演申込締切：2025年11月7日（金）
講演論文集原稿締切：2026年1月14日（水）14時まで

共催：日本機械学会、日本塑性加工学会（幹事学会）
協賛：軽金属学会、高分子学会、精密工学会、日本金属学会、日本トライボロジー学会、日本材料学会、日本複合材料学会、日本レオロジー学会、日本銅学会、日本鉄鋼協会、プラスチック成形加工学会、溶接学会、型技術協会、日本合成樹脂技術協会、粉体粉末冶金協会、日本鍛圧機械工業会
後援：日刊工業新聞社

●講演申込方法
学会のホームページ（<http://www.jstp.or.jp>）の【講演申込みのページ】より申し込んでください。
・講演申込には、会員番号・パスワードが必要です。
・会員番号・パスワード発行までにお時間がかかりますので、**入会申込みは12月25日までお願いします**。また、共催学協会会員には今回限り有効な会員番号とパスワードを発行します。
ホームページでの申込みが困難な方は、学会事務局まで電話（03-3435-8301）でお問合せください。

●講演申込上の注意
1. 未発表かつオリジナルな内容に限りします。
2. 講演者は講演申込時に共催学協会の個人会員に限りします。連名者の資格はその限りではなく、連名者数（除く講演者）は6名までとします。
3. **講演申込締切後の講演取消はできません。また、講演申込締切後の題目、講演者、連名者の変更はできません。**
4. 講演論文集の原稿の著作権は日本塑性加工学会に譲渡していただきます。なお、著作者自身による原稿利用の権利は留保いたします。
5. 講演分類は右記の表より1つずつ選んだ組合せで表示します。
6. 講演申込み後、受付確認メールを返信します。1時間以内に受付確認メールが届かない場合は申込が登録されていない可能性があるため早急に学会事務局まで電話でご連絡ください。
7. 希望講演日に関しては、プログラム編成上、ご要望にお応えできないことを予めご了承ください。

●原稿の提出
講演論文集の原稿枚数はA4用紙2枚です。原稿はPDFで提出していただきます。原稿の執筆方法はホームページをご参照ください。
アブストラクトの公開は予定しておりません。

●特別原稿編集作業費
講演論文集原稿締切後に原稿を提出された方および原稿を再投稿された方には、特別原稿編集作業費20,500円（消費税10%込）を請求いたします。
また、**1月21日14時まで**に原稿が入手できなかった講演は取消とさせていただきます、更に20,500円（消費税10%込）を請求いたします。

1月14日14時以降 ～ 1月21日14時まで	20,500円
1月21日14時以降	講演取消および20,500円

●参加登録
講演会に参加する方（講演者、連名者、聴講者）は参加登録が必要です。
早期割引参加登録手続きは4月下旬にホームページにて公開予定です。

●優秀論文講演奨励賞の申込
35歳以下の若手発表者による優秀な講演発表に対して、優秀論文講演奨励賞を贈ります。35歳以下の会員で審査を希望される方は、講演申込時に優秀論文講演奨励賞の審査の希望を選択して、年齢も必ず選択してください。申請がない場合は、審査対象外とさせていただきます。なお、過去に本賞の受賞歴のある方の応募は、2年を超え、かつ講演会4回分が欠格期間となります。

表1 素材形態別分類 表2 加工法別分類

素材形態	加工法
板 材 A	圧 延 a
	鍛 造 b
	転 造 c
	押 出 し d
	引 抜 き e
	ロール成形 f
	チューブフォーミング g
	スピニング h
	せん 断 i
	曲 げ j
塊状物 B (線・棒・型材等)	板材成形 k
	矯 正 l
	高エネルギー・高速度加工 m
管 材 C	接 合 n
	積層造形 o
	粉末成形 p
	射出成形 q
不定形材 D (粉末・溶湯・木材等)	半溶融・半凝固・溶湯 r
	インクリメンタルフォーミング s
	サーボ応用加工 t
	マイクロフォーミング u
	超音波応用加工 v
	ドライ加工 w
	温・熱間プレス成形 x
	表面改質 y
	その他 z

表3 要素技術別分類

材料試験	1
塑性理論	2
解析技術	基礎理論、解析モデル 3
	数値シミュレーション 4
	実験シミュレーション 5
材 料	鉄鋼材料 6
	非鉄金属材料 7
	複合材料・CFRP 8
	超塑性材料 9
	プラスチック 10
	粉末材料 11
	セラミック 12
	ポーラス 13
	木材 14
	新素材・その他 15
加工特性	変形特性・負荷特性 16
	加工限界 17
	加工精度 18
	材質改善 19
	そ の 他 20
工具、金型	金型設計、CAD/CAM 21
	工具材料、表面処理 22
	そ の 他 23
加工・生産システム	計測、制御 24
	加工機械、生産システム 25
	知能化技術(AI, エキスパート) 26
	そ の 他 27
トライボロジー	28
環境・省エネルギー	29
そ の 他	30